

【分野名：社会科学】

大 学 名	京都大学
拠点のプログラム名称	21世紀型法秩序形成プログラム
中核となる専攻等名	法学研究科公法専攻
拠点リーダー氏名	大石 眞
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>基礎法学・法史学・法社会学と国際法を含む法解釈学とを有機的に連携する形で法学の各分野をカバーすると共に、行政学を含む政治学とを緊密に結合することにより脱近代的な社会・行政現象を対象として先端的研究分野を開拓しようとするものである。</p> <p>具体的には、法制度および政治・行政過程について、実態の解明と理論的検討の両面から、グローバル化・情報化・ソフト化により変貌する社会の実相に迫り、「自律的個人を基礎とする自由で公平な社会」の実現に向けて、21世紀に適合的な法システムの秩序形成のあり方を探求し、新たな法・政治秩序の形成に寄与するための政策提言を行う。</p> <p>《実施計画の概要》</p> <p>研究方法をより具体化するため、研究チームの編成について、理論的な検討を行うグループ（A班）と実証的検討を行うグループ（B班）とに大別し、実証的検討を、国家アクター（B-1班）、市場（B-2班）、市民社会（B-3班）の3つの班に組織化するとともに、先端的な個別課題に重点的に取り組んでいる。理論的検討グループと実証的検討グループとの有機的な連携の仕組みを確立することによって、事業目的を達成するためのさまざまな予備的研究を推進し、以下のような事業を中心に計画を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「拠点形成費補助金若手研究者活動経費取扱要領」に基づく、優秀な若手研究者の選定と、その自発的な研究活動の支援 ・ ウェブサイトの開設、ニュースレターの発行などによる研究成果の公表と、プログラムの実施状況に関する情報の発信 ・ 各班における各種研究会の定例化と、実証的検討グループを中心とした外国人研究者を招聘しての国際シンポジウムの開催（2004年1月31日～2月1日、同2月20日～21日） 	